

様々なジャンルのクリエイター100組によるアートフェスティバル

SICF14

Spiral Independent Creators Festival 14

会期 A 日程: 2013 年 5 月 3 日 (金・祝日) — 4 日 (土・祝日) 11:00 - 19:00

B 日程: 2013 年 5 月 5 日 (日・祝日) — 6 日 (月・振替) 11:00 - 19:00

会場 スパイラルホール (スパイラル 3F)

スパイラルは、2013 年 5 月 3 日 (金・祝日) ~ 5 月 6 日 (月・振替) に、アートフェスティバル「SICF14」(スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル 14) をスパイラルホール (スパイラル 3F) で開催します。

新しい才能に会いに行こう。



「SICF13」(2012) 会場風景 撮影: 市川勝弘

「SICF」は、スパイラルが次代を担うクリエイターの発掘と支援を目的とした公募形式のアートフェスティバルです。毎年ゴールデンウィーク期間中に開催し、今回で 14 回目を迎えます。一般公募から書類選考を通過した 100 組の様々なジャンルのクリエイターが、スパイラルホールを舞台に独創的なプレゼンテーションを繰り広げます。そして日本のカルチャーを牽引する審査員によって、参加クリエイターの中からグランプリ、準グランプリ、各審査員賞、さらに来場者の投票によってオーディエンス賞を決定。過去 13 回の実績から、今なお各方面で活躍するクリエイターを数多く輩出しています。ぜひこの機会にご取材、ご掲載をご検討くださいますようお願い致します。

■取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 瀧本恵理、加藤美穂
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848
E-mail press@spiral.co.jp <http://www.spiral.co.jp/>

spiral.

新たな個性と出会い、隠れた才能を発掘する「SICF」

期間中、会場には 50 のブースが並び、2 会期に分けて合計 100 組のクリエイターによる、絵画、写真、映像、プロダクト、立体作品、インスタレーションやそれらの垣根を越えた表現、またそのどれにもあてはまらないプレゼンテーションなど、既成の価値観にとらわれない質の高い作品群で会場を埋め尽くします。各ブースには出展者が常駐し、来場者は作品を観ることだけではなく、作家の思いを直接聞くこともできます。新たな才能と出会い、新鮮なクリエイションに触れる事により、昨日までとは少し世界の見え方が違ってくるかもしれません。未だ見ぬ新たな何かとの出会い求め、アートファンはもとより、ギャラリストやキュレーター、プレス関係者等も多く来場し、「SICF」は出展者の活動の幅を大きく広げるきっかけにもなっています。スパイラルはクリエイターと社会を繋ぐ様々な機会を用意して出展者の活動を支援しています。



「SICF14」ロゴ

SICF13 (2012) 会場風景
撮影:市川勝弘

■ 「SICF13」(2012) 受賞者情報 (一部) ■

2012 年 5 月に開催された「SICF13」の受賞者の方々をご紹介します。

グランプリ：佐野景子 [ガラス]



撮影: 青木遥香

準グランプリ：高崎紗弥香 [写真]



撮影: 高崎紗弥香

南條史生賞：悠 [切り絵]



撮影: 市川勝弘

紫牟田伸子賞：フクシマチヒロ [絵画]



撮影: 市川勝弘

顕彰について

グランプリ受賞者はスパイラル1Fのショウケースで秋に個展を開催、スパイラルが制作費として50万円をサポートします。ショウケースは青山通りに面した開放的な空間で、流行やファッションの発信地・青山に訪れる多くの感度の高い方々やクリエイティブ関係者の目に留まります。またグランプリの副賞として、スパイラルの広報誌 Spiral Paper でも紹介します。さらにグランプリ、準グランプリ、各審査員賞、オーディエンス賞を含む全ての受賞者に次回「SICF」の受賞者展示に出展していただくことができます。クリエイターたちの作品が多くの方の目に触れるまたとないチャンスとなります。



SICF13 グランプリアーティスト展
佐野景子「空気のしわざ」個展風景
(ショウケース、2012年10月27日 - 29日)
撮影: 市川勝弘



SPIRAL PAPER
No. 129

Spiral Paper no.129 (2012)
表紙アートワーク
SICF12 グランプリ受賞
福士朋子
©Spiral / Wacoal Art Center



Spiral Paper winter issue(2011)
表紙アートワーク
SICF11 グランプリ受賞
青木美歌
©Spiral / Wacoal Art Center

SICF14 開催情報

「SICF14」(スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル 14)

- 会期** A 日程: 2013 年 5 月 3 日 (金・祝日) - 4 日 (土・祝日) 11:00 - 19:00
B 日程: 2013 年 5 月 5 日 (日・祝日) - 6 日 (月・振替) 11:00 - 19:00
※両日程ともに 50 組 2 日間ずつ
- 会場** スパイラルホール (スパイラル 3F)
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅 B1、B3 出口すぐ
- 入場料** 一日券: 一般 700 円 / 学生 500 円
- 審査員** 浅井隆 (有限会社アップリンク 社長 / 「webDICE」編集長)
(敬称略) 後藤繁雄 (編集者 / クリエイティブディレクター)
佐藤尊彦 (株式会社ビームス販売促進本部 プレス)
紫牟田伸子 (編集家 / プロジェクトエディター)
岡田勉 (スパイラル チーフキュレーター)

- 主催** 株式会社ワコールアートセンター
- 協力** CLIP / 株式会社ステージフォー / 日本ノボパン工業株式会社
- 企画制作** スパイラル
- グラフィックデザイン** FORM::PROCESS
- お問い合わせ** TEL. 03-3498-1171 (スパイラル代表)
- SICF ウェブ** <http://www.sicf.jp/>
- SICF フェイスブック** <http://www.facebook.com/SpiralIndependentCreatorsFestival>
- SICF ツイッター** @SICF_official ハッシュタグ: #sicf14



■授賞式の様子を USTREAM 配信！

授賞式と審査員による講評会の様子をウェブ中継。審査発表の瞬間を現場の興奮さながらにリアルタイムでお楽しみいただけます。また、授賞式後の講評では、審査の流れや評価ポイントについて審査員が座談会形式で詳しく解説。アート、ファッション、デザインなど、各分野で東京のカルチャーを牽引する審査員たちは、次世代を担う若手作家たちのクリエイションをどう読み解くのでしょうか。

日時：2013 年 5 月 6 日（月・振替）20:00 – 21:00

URL：<http://www.ustream.tv/channel/sicf>

<同時開催> SICF13 受賞者展

2012 年 5 月に開催された「SICF13」で各賞を受賞したアーティストの最新作をご覧ください。

会期 2013 年 5 月 3 日（金・祝）– 5 月 6 日（月・振替）

会場 エスプラナード（スパイラルM2F）／スパイラルホール ホワイエ（スパイラル3F）

※スパイラルホール ホワイエの展示は「SICF14」の入場料が必要です。

出展者 グランプリ：佐野景子 [ガラス] ／準グランプリ：高崎紗弥香 [写真]

オーディエンス賞：大野洋平 [立体] ／浅井隆賞：齊藤千尋 [絵画]

佐藤尊彦賞：GORO [ヘアースカルプチャー] ／紫牟田伸子賞：フクシマチヒロ [絵画]

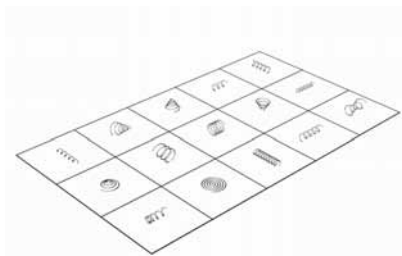
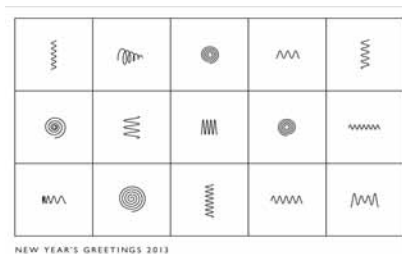
南條史生賞：悠 [切り絵] ／スパイラル奨励賞：城崎郁恵 [ガラス]

<参考資料> SICF 受賞者活動支援

スパイラルは若手アーティストを積極的に起用し、活動の場を広げる事に貢献しています。

■大西景太：SICF12 スパイラル奨励賞受賞（2011）

2013 年スパイラル年賀状／Spiral Web 年始イントロ動画 連動企画 実施期間：2013 年 1 月 1 日 – 31 日



上：2013 年スパイラル年賀状

下：Spiral Web 年始イントロ動画

幾何学的な図形の動きと音の組み合わせによって印象的な旋律を紡ぎだす大西景太とスパイラルが手を組み、新年のご挨拶として、年賀状ビジュアルと Spiral Web のイントロ動画を連動させる企画を実施しました。年賀状の平面的なグラフィックが、ウェブ上では視点を変え、様々な形状の立体的な螺旋となって、画面から浮かび上がり動き始めます。一つ一つの異なるスパイラルの動きから発せられる音の集積によって、心地よい調べを奏でる動画となって登場。SICF での出会いによって実現したプロジェクトです。

◆プロフィール◆ 大西景太（Keita ONISHI）

1980 年、神奈川県生まれ。東京藝術大学大学院修了。

音に関わる映像表現をテーマにインスタレーション作品を制作し、「アートと音楽—新しい共感覚をもとめて」（東京都現代美術館／2012）などに出品。また、オペラ「ボッペアの戴冠」（新国立劇場／2009）の映像演出、ハイスイノナサ「地下鉄の動態」MV 制作（2011）など多様な映像表現に携わる。同 MV で 2012 年文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門新人賞受賞。<http://www.onishikeita.com/>